

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	論理国語	3	人文系	必修	3
使用教科書 副教材等	探求 論理国語（桐原書店） 近代文学四選（桐原書店）				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	評論Ⅱ 身体と出現 論文を読む ベルリンの「内」と「外」 —「舞姫」を通じて	- 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らを取り巻くものと身体の関係性について考えを深める。 - 他者の視点や立場を意識して、レポートを書く力を身に付ける。 - 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。 「舞姫」を読み、背景にある時代や文化の状況もふまえて作品を理解する。
二学期中 間考查まで	評論Ⅱ 市民社会化する家族	- 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、近代化・都市化によって生じた家族や人間の存在についての認識や考察を深める。 - 実社会で役立つ文章作成力を養成するとともに、実社会と自分の関わりを考える。
二学期末 考查まで	評論Ⅳ ポストモダンと排除社会	- 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自らの文化や世界に対する見方を見つめ直し、現代をどう生きていくかについて考える。 - 他者の視点や立場を意識して、小論文を書く力を身に付ける。
学年末 考查まで	総合問題演習	現代文の実践的な読解方法を身に付ける。
評価方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	古典探究	3	英語系 人文系	必修	3
使用教科書 副教材等	高等学校 古典探究（数研出版）				
学習目標	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	歴史物語 大鏡 南院の競射 思想 莊子 曳尾於塗中 和歌・歌謡・俳諧 古今和歌集仮名序 思想 老子 小国寡民 日記文学 蜻蛉日記 うつろひたる菊 史伝 荊軻 風蕭蕭として易水寒し 随筆 古本説話集 清少納言がこと	- 書き手の考え・目的・意図を捉えて解釈を深める。 - 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 - 我が国の言語文化に対する考えを深める。 - 文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げ、深める。 - 作品に表れる考え方をふまえて考えを深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 - 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 - 複数の古典を読み比べ、共通点・相違点に着目しつつ、作品の成立背景や他作品との関係をふまえて考察する。
二学期 中間 考查まで	物語 源氏物語 車争ひ 史伝 荊軻 図窮まりて匕首見る 日記文学 紫式部日記 同僚女房評	- 古典の作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げ、深める。 - 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。 - 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。
二学期末 考查まで	日記文学 和泉式部日記 薫る香に 漢詩 古体詩 飲酒	- 作品に表れる考え方をふまえて考えを深めるとともに、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 - 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを深める。 - 複数の古典を読み比べ、共通点・相違点に着目しつつ、作品の成立背景や他作品との関係をふまえて考察させる。
学年末 考查まで	総合問題演習	古典の実践的な読解方法を身に付ける。
評価 方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考查 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考查 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	文学講読	3	英語系 人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	高校生のための近現代文学ベーシック ちくま小説入門 改訂版				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	第一部 小説の読解 第二部 第二章 ポチ 第三章 満月	・小説を読むうえでの基礎的な知識、読解のポイントについて学び、小説の魅力やその広がりについて考える。 ・奇想天外な設定がもたらす解釈の豊かさを味わい、日常の不条理を考える。 ・作中人物の揺れ動く微妙な心理を把握させ、深い孤独や死の気配を表す表現の巧みさを理解する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	第二部 第一章 ボッコちゃん 第三章 乞食王子 第三章 柳の木	・作者の独特な世界観を楽しんだうえで、創作活動（ショートショート制作）に挑戦する。 ・物語の舞台設定を押さえさせたうえで、登場人物の変化と周囲の見方を捉える。 ・言葉のない描画の表現を通して、奥深いストーリーに触れる。
二 学 期 末 考 査 ま で	第二部 第四章 狐憑 第四章 黒猫	・物語の舞台設定を押さえさせたうえで、登場人物の変化と周囲の見方を捉える。 ・ホラー小説の原点ともいえるべき小説を読むことを通して、様々な仕掛けを味わい、語り手と読者の共鳴現象を体験する。
学 年 末 考 査 ま で	第二部 第四章 セメント樽の中の手紙 第五章 四月の魔女 問題演習	・手紙の中で揺れ動く差出人の心情変化を分析し、プロレタリア文学の現代における意味を考える。 ・ファンタジーの名手による短編を通して恋愛の不思議さと、人間の行動や心情の変化、人間の関係性を読み解く。 ・進路にあった問題の演習をする。
評 価 方 法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
地理歴史	地理探究	3	人文系	選 択	4
使用教科書 副教材等	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） 新詳地理資料 COMPLETE 2024（帝国書院）、24 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第3章 交通・通信と観光、貿易 1 節 交通・通信 2 節 観光 3 節 貿易と経済圏 第4章 人口、村落・都市 1 節 人口・人口問題 2 節 村落と都市 3 節 都市・居住問題 第5章 生活文化、民族・宗教 1 節 衣食住 2 節 民族・宗教と民族問題 3 節 国家の領域と領土問題	・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。 ・増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察する。 ・村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について多面的・多角的に考察する。 ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。
二学期中 間考查まで	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 1 節 地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1 節 中国 2 節 韓国 3 節 ASEAN諸国 4 節 インド 5 節 西アジアと中央アジア	・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料をもとに、世界をいくつかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて考察する。 ・中国や韓国について、自然環境や歴史と生活文化、産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 ・古くから農業が盛んで、近年急速に工業化が進んでいるASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 ・近年急速に経済が成長しているインドについてや、西アジアと中央アジアについて、よりよい社会の実現を視野に地域の課題を主体的に考察する。
二学期末 考查まで	6 節 アフリカ 7 節 EU諸国 8 節 ロシア 9 節 アメリカ合衆国 10 節 ラテンアメリカ 10 節 オセアニア	・北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。 ・ヨーロッパやロシアについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 ・移民国家としての多様性をもち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国について、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 ・かつてヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、文化や農業・工業をヨーロッパの影響と関連づけて考察する。 ・南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。
学年末 考查まで	第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究 1 節 将来の国土の在り方 2 節 持続可能な日本の国土像の探究	・日本の強みをより生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組みればよいかについて考察する。 ・現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいかについて考察する。
評価方法	【知識・技能】定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
地理歴史	日本史探究	3	英語系・人文系	選択	4
使用教科書 副教材等	日本史探究 詳説 日本史（山川出版社） 図説 日本史通覧（帝国書院） 日本史重要語句 Check List 2024（啓隆社）				
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開	① 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ② 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、中世から近世への時代の転換を理解する。 ③ 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察する。
二学期中 間考查まで	第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開	① 幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容や近代化の基盤の形成を理解する。 ② 対外政策の変容と開国、幕藩体制の動揺と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ③ 立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。
二学期末 考查まで	第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦	① 産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ② 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。
学年末 考查まで	第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	① 我が国の再出発及びその後の政治・経済や 国民生活の変容を理解する。 ② 日本経済の発展、冷戦終結後の国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察する。
評価方法	【知識・技能】定期考查・小テスト・発表内容 【思考力・判断力・表現力】定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
地理歴史	世界史探究	3	英語系 人文系	選 択	4
使用教科書 副教材等	世界史探究 詳説 世界史 (山川出版社) ニューステージ世界史詳欄 (浜島書店) 授業用詳説世界史整理ノート (山川出版社) 世界史 重要語句 Check List 2024 (啓隆社) 要点整理 ゼミナール世界史 (浜島書店)				
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性を広い視野から考察させることによって、歴史への興味・関心を高め、歴史的思考力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第8章 東アジア世界の展開と モンゴル帝国 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジア諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 第12章 産業革命と環大西洋革命	・10世紀前半に東アジアで政権交替の背景や、成立した諸国の共通点を把握し、モンゴル帝国時代の東西交流の新しさを多面的・多角的に考察する。 ・ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 ・オスマン帝国の基礎が築かれた経緯と勢力拡大の経緯を理解する。また、サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響について理解する。 ・主権国家体制の成立の経緯と16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ・16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。また、アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。
二学期中 間考査まで	第13章 イギリスの優位と欧米国民 国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族 運動	・19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ・オスマン帝国の列強への経済的な従属化の経緯を理解する。 ・中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ・20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。
二学期末 考査まで	第16章 第一次世界大戦と世界の 変容 第17章 第二次世界大戦と新しい 国際秩序の形成 第18章 冷戦と第三世界の台頭	・歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察する。 ・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ・冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。
学年末 考査まで	第19章 冷戦の終結と今日の世界	・1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ・東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ・今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察する。
評価方法	【知識・技能】 定期考査・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考査・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
地理歴史	地理研究	3	人文系	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	自校教材（本校地理歴史科） 新詳地理資料 COMPLETE 2024（帝国書院）、24 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	現代世界の系統地理的考察 資源と産業 農林水産業 資源・エネルギー 工業 交通・通信と観光 交通・通信 観光 貿易	- 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて捉えるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。 - 資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取組を考察する。また、日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 - 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。 - 交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえる。 - 観光業について、その特徴や利点をしり、課題を考察する。 - 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。
二学期中間 考查まで	人口、村落・都市 人口 村落と都市 生活文化、民族・宗教 衣食住 民族・宗教 国家の領域と領土問題	- 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布、年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるかについて、多面的・多角的に考察する。 - 村落や都市の立地や発達、形態、変容のしかたにみられる傾向や規則性、国や地域によって異なる地域性について多面的・多角的に考察する。 - 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて考察する。
一学期期末 考查まで	現代世界の地誌的考察 現代世界の諸地域 アジア地域 アフリカ地域 ヨーロッパ地域	- 中国や韓国、ASEAN諸国について、文化・民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 - 北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。 - ヨーロッパやロシアについて、民族や産業など地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。
学年末 考查まで	アメリカ地域 オセアニア地域	- 移民国家としての多様性もち、世界有数の農業国であり、先端技術産業でも世界をリードしているアメリカ合衆国や、ヨーロッパ諸国の植民地であった歴史的背景があり、それが人々の生活や現在の産業にも深く関わっているラテンアメリカについて、地域を構成するさまざまな事象を項目ごとに整理して考察する。 - 南半球にある地理的位置や移民の国という共通点があるが、自然環境や産業で違いもみられるオーストラリアとニュージーランドについて、二つの国を比較し、類似する一般性や地域の特殊性を考察する。
評価方法	【知識・技能】定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
地理歴史	日本史研究	3	英語系・人文系	選 択	2
使用教科書 副教材等	自校教材（本校地理歴史科）				
学習目標	世界の中の日本を意識し、日本史の技能や知識を学習して身に付けさせるとともに日本史への興味・関心を喚起し、日本史研究に取り組む姿勢を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查 まで	原始・古代 ・旧石器・縄文・弥生時代の概要 ・古墳時代の概要 ・奈良時代の概要 ・平安時代の概要	・年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 ・外交史や諸外国の影響が具現化した文化史を連続して学習することにより、東アジアの中の日本を意識する。 ・正確な知識を身に付ける。
二学期 中間 考查 まで	中世 ・鎌倉時代の概要 ・室町・安土桃山時代の概要 近世 ・江戸時代の概要	・年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 ・外交史や諸外国の影響が具現化した文化史を連続して学習することにより、東アジアの中の日本を意識する。 ・正確な知識を身に付ける。
二学期 期末 考查 まで	近代・現代 ・明治時代の概要 ・大正時代の概要	・年表から当該時代の概要を把握し、図表の活用に関する技能を養い、理解を深める。 ・教科書でテーマや項目ごとに学習した内容を、内閣を中心に再編集し、事件や事象等から時代背景を理解して、内閣の特徴や歴史上の必然性を考察するとともに、知識の定着を図り、歴史への興味関心を育む。 ・歴史の因果関係が捉えやすいテーマを選び、一連の歴史の流れを意識する。
学年 年末 考查 まで	・昭和時代の概要 ・戦後の概要	・年表から当該時代の概要を把握し、図表の活用に関する技能を養い、理解を深める。 ・教科書でテーマや項目ごとに学習した内容を、内閣を中心に再編集し、事件や事象等から時代背景を理解して、内閣の特徴や歴史上の必然性を考察するとともに、知識の定着を図り、歴史への興味関心を育む。 ・歴史の因果関係が捉えやすいテーマを選び、一連の歴史の流れを意識する。
評価 方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
地理歴史	世界史研究	3	英語系・人文系	選 択	2
使用教科書 副教材等	自校教材（本校地理歴史科）				
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性を広い視野から考察させることによって、歴史への興味・関心を高め、歴史的思考力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	戦後の歴史	・冷戦の進展がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ・1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ・東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ・今日の国際関係の特徴と、必要とされている協力の内容を多面的・多角的に考察する。
二学期中 間考查まで	東アジア史	・東アジアでは、気候の異なる地域が混在していたことを理解し、それぞれの気候が各地の生業などに与えた影響を考察する。 ・中国の各王朝の支配形態の変遷を比較し、共通点と相違点を理解する。また、中国の社会において、仏教や道教が力を持つようになった要因や背景を、多面的・多角的に考察し表現する。 ・中国の王朝の勢力圏の広がりやその制度や文化が近隣諸国に与えた影響について理解する。
二学期末 考查まで	イスラーム史	・ウマイヤ朝の領域的な広がりやアッバース朝成立の背景とその支配の特徴を理解する。 ・イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・南アジアにおいてイスラーム教が受け入れられていった経緯を理解する。 ・東南アジアにおいてイスラーム化が進んだ背景について考察する。 ・アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察する。
学年末 考查まで	中国文化史 ヨーロッパ文化史	・中国各王朝の文化を比較をすることを通して、その特色を理解する。 ・ヨーロッパ古代から近代までの文化について、政治・経済の歴史と関連させながら、特徴を理解する。
評価方法	【知識・技能】 定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】 定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
公民	政治・経済	3	英語系 人文系	選 択	3
使用教科書 副教材等	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社） 最新図説 政経（浜島書店）、ニューコンパスノート政治・経済2025（とうほう）				
学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1編 現代の日本の政治・経済の諸原理	・民主政治への道のり、法と民主政治、基本的人権の確立、世界のおもな政治体制について理解する。日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し日本における役割を考察する。 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利、また課題について理解する。 ・経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解し、考察する。
	第1章 現代日本の政治・経済	
	第1節 日本国憲法と現代政治のあり方	
	第2節 望ましい政治のあり方と主権者についての政治参加のあり方	
二学期中 間考查まで	第3節 市場経済の機能と限界	・日本の財政の課題を抱える課題や、持続可能な財政および租税のあり方について考察する。また、金融の役割や、金融政策の手段について理解する。 ・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解、考察する。 ・国際社会の成立と主権国家、国際社会の秩序維持と国際法、国際連盟、国際連合の役割と課題について理解する。国際社会のさまざまな主体やルールに着目して、国際社会における利害調整や紛争解決がどのように行われているか考察する。 ・第二次世界大戦後の国際関係の展開と日本、地域主義の動き、軍縮の動向と課題、地域紛争と難民問題、国際社会における日本の役割について理解する。
	第4節 持続可能な財政および租税のあり方	
	第5節 金融を通じた経済活動の活性化	
	第6節 経済活動と福祉の向上	
二学期末 考查まで	第2章 現代日本の諸課題の研究	・日本の外交や安全保障が直面している課題や、今日の国際社会において日本に求められている役割について理解、考察する。 ・自由貿易と国際分業、為替レートの変動、国際収支のしくみ、戦後国際経済体制の展開、南北問題や南南問題について理解する。貿易自由化や国際的な経済格差の現状を踏まえて、世界の人々のより豊かな生活を実現するためにはどうすればよいか考察する。
	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題	
	第1章 現代の国際経済・経済	
	第1節 国際法の果たす役割	
学年末 考查まで	第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	・グローバル化する世界経済や、地球環境問題、資源・エネルギー問題、貧困問題などの主要な地球的課題について理解する。
	第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	
評価方法	第4節 国際経済において求められる日本の役割	
	第2章 国際社会の諸課題の研究	
評価方法	【知識・技能】 定期考查	
	【思考・判断・表現】 定期考查 課題の取組	
	【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度 課題の取組	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単位数
数 学	数 学 C	3	医療看護系、 英語系、人文系	医療看護系：必修 英語系・人文系：選択	2
使用教科書 副教材等	高等学校 数学C（数研出版） 4プロセス 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）、チャート式 数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）				
学習目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查 まで	第1章 平面上のベクトル 第2節 ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル 空間のベクトル	- 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また、ベクトルを用いて図形を表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。 - 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。
二学期 中間 考查 まで	第2章 空間のベクトル 空間のベクトル 復習、応用問題演習	- 平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。 - 既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。
一学期 期末 考查 まで	復習、応用問題演習	既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。
学年 末 考查 まで	総合問題演習	入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。
評価 方法	【知識・技能】 授業・課題・単元テスト・定期考查等で判断する。 【思考力・判断力・表現力】 授業中の解答状況や発表、課題、定期考查等で判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
数 学	数学探究B	3	医療看護系 人文系	医療看護系：必修 人文系：選択	3
使用教科書 副教材等	数学探究プリント				
学習目標	数学的技能や知識を学習し、身につけさせるとともに数学への興味関心を喚起し、数学研究に取り組む姿勢を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	式と証明・複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法	・整式及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・高次方程式について考える技能を養う。 ・図形を解析幾何学的方法で扱えるようにし、軌跡の考え方を理解する。 ・いろいろな関数について、その特徴を理解し、応用力をつける。 ・微分法と積分法の間係を理解し、グラフ、面積、体積に利用する技能を養う。
二学期中 間考查まで	数列 統計的な推測 数と式 2次関数 図形と計量 データの分析	・数列について理解し、様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 ・統計の見方や考え方を理解し、応用力を身につける。 ・いろいろな計算の技能を養い、応用できるようにする。 ・最大・最小について理解し、2次方程式や2次不等式を活用する技能を養う。 ・三角比のいろいろな公式を用いて、値を求める技能を養う。 ・データを整理・分析し、傾向を把握するための基礎的な知識や技能を身に付ける。
二学期末 考查まで	場合の数と確率 図形の性質 復習、応用問題演習	・個数の処理や確率の考え方を理解し、応用力を身に付ける。 ・図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。
学年末 考查まで	復習、応用問題演習 総合問題演習	・既習事項の復習を行い、入試問題等を利用して、応用問題を解く力を培う。 ・入試問題等を利用して問題演習を行い、既習事項の定着を図る。
評価方法	【知識・技能】授業・課題・単元テスト・定期考查等で判断する。 【思考力・判断力・表現力】授業中の解答状況や発表、課題、定期考查等で判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
理 科	化学研究	3 年	英語系・人文系 医療看護系	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	自作プリント セミナー化学基礎（第一学習社）				
学習目標	自然現象や身近な生活の中で利用されている物質の化学的な性質を学び、化学的な概念や原則についての理解を深めるための演習を行う。また、受験に向けての実戦力を高める。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	I 章 物質の変化 1 物質と化学反応式 (1) 原子量・分子量・式量 (2) 化学反応式 2 酸と塩基の反応 (1) 酸・塩基・中和 (2) 水の電離とpH 3 酸化還元反応 (1) 酸化還元反応 (2) 酸化数 (3) 酸化剤と還元剤	・物質の量的な表し方について理解する。 ・化学反応により起こる量的な変化について理解する。 ・酸と塩基の性質とその反応の仕組みを理解する。 ・pHが酸・塩基の度合いを表すものであることを理解する。 ・酸化還元反応の仕組みを理解する。 ・酸化数の考え方を理解する。 ・代表的な酸化剤と還元剤について、その反応について理解する。
二学期中間 考查まで	II 章 物質の構成 1 化学と人間生活 (1) 元素・単体・化合物 (2) 物質の状態 2 物質の構成 (1) 原子の構造 (2) イオンの生成 (3) 周期表 (4) イオン結合 (5) 共有結合 (6) 金属結合	・物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について理解する。 ・熱による物質の状態変化について理解する。 ・物質は原子、分子、イオンが集まってできていることと、原子の構造を理解する。 ・イオンの性質とその生成の仕組みを理解する。 ・周期律と周期表、元素の性質について理解する。 ・さまざまな化学結合について理解する。
二学期期末 考查まで	問題演習	・受験に対応した基本的な問題を網羅し、化学基礎レベルの知識・理解を整理する。 ・共通テスト試験化学基礎の問題を解き、受験における実戦力を高める。
学年末 考查まで	問題演習	・大学個別試験に対応できる実戦力を身に付ける。
評価方法	【知識・技能】 小テスト、定期考査、ノートの記述、観察・実験の態度、実験プリントの記述で評価 【思考・判断・表現】 授業発表、観察・実験の態度、ノートの記述、定期考査等で評価 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、授業発表、ノート等の整理状況で評価	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
理 科	生物研究	3 年	英語系・人文系・医療看護系	選択	2
使用教科書 副教材等	高等学校 生物基礎（第一学習社）、新コンセプトノート生物基礎（浜島書店）、 ニューグローバル生物基礎（東京書籍）				
学習目標	既習の生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 第2編 ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持	- 生物に共通してみられる特徴や、生物にそのような特徴がみられる理由について観察や資料などから見いだして理解する。 - ATPという物質が、代謝でエネルギーが出入りする際の仲立ちをしていることを理解する。 - DNAの構造は、遺伝情報を保持し複製するのに適していることを理解する。 - DNAの遺伝情報にもとづいて、タンパク質が合成される過程を理解する。 - 体内環境をほぼ一定に保ち、からだの状態を安定に維持するために、内分泌系と自律神経系が働いていることを理解する。また、それらの働きの違いを理解するとともに、これらが協調して働いていることを理解する。
一学期中 間考查まで	第2節 免疫 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第5章 生態系とその保全	- ヒトには病原体からからだを守るしくみとして、病原体の侵入を防ぐしくみや、侵入した病原体を白血球によって排除するしくみが備わっていることを理解する。さらに、自然免疫と獲得免疫のそれぞれのしくみについて理解する。 - 地球上のそれぞれの地域にはさまざまな環境の違いがあり、その環境に適応した生物が生活している。それぞれの地域で環境に応じて植生は移り変わり、分布に違いが生じることを理解する。 - 生態系を構成する非生物的環境と生物はどのように関わっているのか。生物どうしはどのようなつながりをもって生活しているのか。また、人間活動が生態系にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。
二学期末 考查まで	共通テスト過去問題、入試問題 演習	総合的な演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
学年末 考查まで	共通テスト過去問題、入試問題 演習	総合的な演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
評価方法	【知識・技能】 小テスト、定期考查等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考查、実験ノート等の内容で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度及び発表、実験ノート・提出物等の内容で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
理科	地学研究	3 年	英語系・人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	理科学習資料 探究（愛媛県高等学校教育研究会理科部会）				
学習目標	既習の地学現象について、発展的な学習や愛媛県内の地質や資源、環境問題について学びを深め、それにより生まれる洞察力から未来を予測し変化への対応を考える力を養う。また、過去の地学実験の事例研究や問題演習を通して科学的な考え方や態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查 まで	第1章 愛媛の自然 第1節 地形と地質	・日本列島の成り立ちと四国の地質の特徴を総合的に捉え、中央構造線やプレート運動について理解を深める。 ・地球内部のはたらきによってもたらされた愛媛の地下資源や自然遺産（地層・岩石・地形・火山など）について理解を深め、地球環境と人間生活との関わりについて考察する。
二学期 中間 考查 まで	第2節 気候 第2章 身の回りの科学 第1節 愛媛の産業と科学	・愛媛県内の気候の特徴や気象災害について理解を深める。 ・大地は、かつて土砂災害や洪水などの自然現象により形成されたものであることを認識するとともに、住んでいる土地の成り立ちに関心を持ち、日頃から災害に対する心構えを養う。 ・エネルギー資源や鉱物資源など、自然から受けている恩恵について理解し、その有効活用に努める意識を養う。
二学期 期末 考查 まで	第3章 環境問題の学習 第4章 観察・実験と研究 探究活動の進め方	・大気や水質、土壌の汚染について、その現状と影響を学び、その課題解決に向けて、社会全体や個人でどのような取組が必要なのかを見通しを持って科学的に考察し、実践する力を養う。 ・広い自然現象を対象に自然科学に関する問題提起・仮説・検証・整理の過程を踏むことの重要性を理解する。
学年 末 考查 まで	総合演習	・総合演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
評価 方法	【知識・技能】 定期考查、小テスト等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考查、実習のレポート等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、実習レポート、課題の取組等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	体 育	3	英語系・人文系 医療看護系・ 理数系	必修	2
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	体づくり運動 球技Ⅰ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」 体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅰ」	- 中央高校体操、体ほぐしの運動などを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素などを理解できるようにする。 - ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 - 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 - 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする
一学期中間 考查まで	ダンス 「日本の民謡（ソーラン節）」 球技Ⅱ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」 体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅱ」	- 躍動的な動きや手振り、腰を落とした動きなどの特徴をとらえて、音楽に合わせて踊ることができるようにする。 - ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 - 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 - 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。
二学期期末 考查まで		
学年末 考查ま	球技Ⅱ	- ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開することができるようにする。 - 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。
評価方法	【知識・技能】行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。 【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	美術Ⅲ	3	人文系	選択	4
使用教科書 副教材等	美術3（光村図書）				
学習目標	美術の創造的な諸活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術文化と深く関わる資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	1 鉛筆デッサンⅠ 2 平面構成Ⅰ 3 鉛筆デッサンⅡ	・幾何形体の特徴を理解し、正しく表現できるようにする。 ・指定された内容を正しく理解し、構図・配色・塗り方等が適切に表現できるようにする。 ・複数のモチーフの構成の仕方、描く手順を理解し、表現できるようにする。
二学期中 間考查まで	4 平面構成Ⅱ	・自然物をモチーフとし、画面構成や配色を工夫し、表現できるようにする。
二学期末 考查まで	5 鉛筆デッサンⅢ	・進学希望先の受験内容を理解し、それに対応できるようにする。
学年末 考查まで	6 平面構成Ⅲ	・進学希望先の過去の出題から問題を予想し、時間を計って取りくむようにする。
評価方法	【知識・技能】 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めているか。 【思考・判断・表現】 意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしているか。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
外 国 語	英語コミュニケーションⅢ	3	全	必修	4
使用教科書 ・副教材等	BIG DIPPER English CommunicationⅢ （数研出版）				
学習目標	英語によるコミュニケーションにおいて、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの統合的な言語活動を通して、情報や考えを理解したり表現したり、伝え合ったりする資質や能力を高める。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	Section I Lesson1 is the Meat Real of Fake? Lesson2 Let's Have a Healthy Workout Lesson3 My Opinion of Zoos Lesson4 The History of Ekiben Lesson5 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson6 The History of Recorded Music Lesson7 Online Word-of-Mouth Lesson8 After the Flowers Lesson9 Hot Springs at Home and Abroad Lesson10 Kintsugi Lesson11 Art on Display Lesson12 Can You Manage Your Anger? Lesson13 Crowdfunding Lesson14 A New Orchestra and a New Harmony	・代替肉が注目される理由や今後の課題について、英文から読み取る。 ・筋力トレーニングの効果や注意点についての英文から、語彙を学ぶ。 ・動物園の存在に対する賛成・反対の意見について、英文から読み取る。 ・駅弁の歴史などについての英文から、語彙を学ぶ。 ・会話を続けるコツなどについて、英文から読み取る。 ・記録音楽の歴史などについての英文から、語彙を学ぶ。 ・飲食店に対する口コミ評価などについて、英文から読み取る。 ・植物の生存戦略などについての英文から、語彙を学ぶ。 ・日本と海外の温泉地の違いなどについて、英文から読み取る。 ・日本の伝統技術「金継ぎ」についての英文から、語彙を学ぶ。 ・博物館の営業管内リーフレットについて、英文から読み取る。 ・怒りの感情をコントロールする方法についての英文から語彙を学ぶ。 ・クラウドファンディングの利点・欠点について、英文から読み取る。 ・パラグアイの新しいオーケストラについての英文から、語彙を学ぶ。
二学期中間 考查まで	Section II Lesson15 Instant Replay in Sports Lesson16 Endangered Languages Lesson17 Is This the Right Way to Protect the Environment? Lesson18 The Shoe That Grows	・スポーツのビデオ判定システムについて、英文から読み取る。 ・危機言語のおかれた状況についての英文から、語彙を学ぶ。 ・環境を守るためのさまざまな試みについて、英文から読み取る。 ・アフリカの教育事情や「成長する靴」についての英文から、語彙を学ぶ。
二学期期末 考查まで	Section II Lesson19 Fake News Lesson20 Human Society and Infectious Diseases Section III Lesson21 Having a Discussion Lesson22 Writing a Summary 1	・フェイクニュースの特徴とそれが生まれる要因について、英文から読み取る。 ・人間社会の発展と感染症の関係についての英文から、語彙を学ぶ。 ・顔認証技術について、英文から読み取る。 ・ハリエット・タブマンの生涯についての英文から語彙を学ぶ。
学年末 考查まで	Lesson23 Question-and-Answer Session Lesson24 Writing a Summary 2	・日本の地震災害と防災について、英文から読み取る。 ・「永遠に生きる方法」についての英文から、語彙を学ぶ。
評価方法	【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考查・パフォーマンステスト等で評価する。 【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考查・パフォーマンステスト等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・課題の提出状況等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
外 国 語	論理・表現Ⅲ	3	英語系・人文系・ 医療看護系・理数系	必 修	2
使用教科書 ・副教材等	APPLAUSE ENGLISH LOGIC AND EXPRESSION Ⅲ（開隆堂） Bright Stage 英文法・語法問題（桐原書店）				
学習目標	「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」及び「書くこと」を中心とした発信能力を強化する。より多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見、主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝えるまたは伝え合うことができる。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 末 考 査 ま で	Lesson 1 What Are You Going to Do during the Golden Week Holidays?	・予定／意図／確信／希望・願望を表す表現を学ぶ。 ・ゴールデンウィークの計画について紹介する。
	Lesson 2 What Do You Want to Do in the Future?	・好き・嫌い／得意・不得意／個人的感想を表す表現を学ぶ。 ・将来就きたい職業とその理由や重視するポイントについて紹介する。
	Lesson 3 Suggest a New Style of Traveling	・提案・助言／必要性・義務／勧誘／受諾・辞退を表す表現を学ぶ。 ・エコツーリズムの必要性や具体的方法などについて、ペアやグループで話し合う。
	Lesson 4 Communicating Your Requests	・依頼／要請／許可を表す表現を学ぶ。 ・プレゼンテーション大会に関する要望などについて E メールを作成する。
	Lesson 5 Thank You for Your Support	・感謝／祝福・喜び／同情／心配・懸念を表す表現を学ぶ。 ・感謝や祝福などの気持ちについて手紙で伝える。
	Lesson 6 How to Complain Politely	・苦情／謝罪／譲歩を表す表現を学ぶ。 ・自分が置かれている状況や要望について伝える。
二学期中 間 考 査 ま で	Lesson 7 My Specialty	・時間的順序／空間的配列・方向／数量（比較）／方法・様態を表す表現を学ぶ。 ・自分が得意な料理のレシピを発表する。
	Lesson 8 My Special People and Places	・人物や事物に関する描写・説明を表す表現を学ぶ。 ・自分が行きたい国などについて理由を挙げながら発表する。
二学期期 末 考 査 ま で	Lesson 9 Paragraph Writing	・パラグラフの構造や特徴の理解をもとに、共働きの家庭について、順序立ててパラグラフを書く。
	Lesson 10 Presentation	・自分の考えを、プレゼンテーションで使用するスライドにまとめる方法の理解をもとに、SNSについての的確に説明する。
学 年 末 考 査 ま で	Lesson 11 Discussion	・ディスカッションで使用する表現の用法の理解をもとに、介護ロボットについての自分の考えをまとめ、発表する。
	Lesson 12 Debate	・ディベートで使用する表現の用法の理解をもとに、賛成派あるいは反対派の立場からガソリン車の生産停止についてディベートをする。
評 価 規 準	【知識・技能】 小テスト、定期考査等で評価する。 【思考・判断・表現】 発表、小テスト、定期考査、提出課題で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、発表（スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション）、提出課題、ノートの整理で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
情報	情報探究	3	英語系 人文系 医療看護系 理数系	必修	1
使用教科書 副教材等	自校教材（本校情報科） ベストフィット情報Ⅰ（実教出版）高等学校 情報科） プログラミングのエッセンス(実教出版) 実力完成 直前演習 情報Ⅰ（ベネッセコーポレーション）				
学習目標	・プログラミングの構文を学ぶことで、アルゴリズム的思考や問題解決能力を養う。 ・情報セキュリティの基本的な概念を理解し、法的な規制や倫理について学ぶ。 ・情報技術やデジタルリテラシーへの理解を深め情報を扱う能力を向上させる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查 まで	プログラミング・シミュレーション 情報社会・情報デザイン・デジタル	・アルゴリズムや基本的なプログラムを理解する。 ・配列や関数を活用できるようにする。 ・探索および整列のプログラムを理解する。 ・確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする方法を説明することができる。 ・情報社会と問題解決、情報セキュリティと法規、知的財産権の扱いについて理解している。 ・情報デザインの基礎を理解し、それらを活用する力を養う。 ・デジタル化された情報とその表し方、メディアのデジタル化、論理演算の計算の仕方に習熟する。 ・コンピュータの構成や動作について、順序だてて説明することができる。
二学期 期末 考查 まで	ネットワーク・問題解決 総合演習問題	・インターネット通信の階層構造やプロトコルの働きについて説明することができる。 ・WWWや電子メールなど、インターネットのサービスの内容と仕組みを説明することができる。 ・デジタル署名、電子認証などに応用されている暗号化の方式と仕組みについて説明することができる。 ・データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理することができる。 ・データベースの意味と必要性を理解し、リレーショナルデータベースの機能について説明することができる。 ・問題を整理したり、構造を明らかにしたりするために、モデルを作成することができる。 ・既習事項が定着している。
1月 末 まで	総合演習問題	・既習事項が定着している。
評価 方法	【知識・技能】：定期考查で評価する。 【思考・判断・表現】：定期考查で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】：授業態度、授業内容の理解、副教材の整理状況等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
英 語	エッセイライティング I	3	人文系・英語系 (3型)	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	エスト自由英作文（エスト出版） Jet Reading 英語速読テスト Level 3（数研出版）				
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、 情報や考え、気持ちや意見、主張などを書いて伝える資質・能力を養う。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	Chapter1 賛成 or 反対 ・防犯カメラの設置について賛成か反対か。 Chapter 2 どちらが～ですか ・「都会」か「田舎町」かのどちらに住みたいか。 Chapter 3 大切なことは何か ・人口の高齢化が進む日本において大切なことは何か。 Chapter 4 仮定した場合の表現 ・外国で暮らすとしたら、どこに住みたいか。	・「主張」、「理由」、「結論」の順に自分の論を展開する。 ・「譲歩」、「逆接」等の手法を使う練習をする。 ・具体例(1)及び(2)を列挙するパターンで展開する。 ・理由を列挙するパターンで展開する。
一学期中間 考查まで	Chapter 5 これまで～した中で ・今までの人生の中で最も印象に残る経験について Chapter 6 ～についての考え ・宇宙開発についての意見 Chapter 7 長所と短所の分析 ・スマートフォンの長所と短所について	・「逆接」を効果的に強調する。 ・様々な主張表現について学ぶ。 ・どちらかを選ぶのではなく、長所と短所の両方を述べる。
一学期期末 考查まで	Chapter 8 グラフ・図表が示す特徴について ・ある期間の市民会館来館者数を表したグラフについて Chapter 9 絵の描写 ・絵の描写から想像して物語を作る。 Chapter 10 eメール・手紙 ・メールや手紙を書く際の基本的な表現について	・グラフ・図表に頻繁に使用される語句を確認する。 ・筋の通った内容にすることや使い慣れた表現を使用するなどに注意する。 ・質問に適切に答える。
学年末 考查まで	総まとめ	・さまざまなテーマで書いた英作文を、全体で共有し、他の作品から学ぶ。
評価 方法	【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・ノートやプリントの整理状況等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
英 語	時事英語	3	人文系	選 択	3
使用教科書 ・副教材等	・英語で読んで考える時事×SDGs Cross Bridge (文英堂) ・Essential Exercises of English Grammar and Usage 最重要文法語法必修ファイル (エ スト出版)				
学習目標	SGDを主題としたニュース記事を元に、現代社会で起こっている問題を論じる際に用 いられる英語を理解するとともに、それを活用する能力を養う。また広い視野から国際 理解を深め、持続可能な社会を築く一員としての自覚を高める。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 末考査まで	Unit 1 資源・環境	・プラスチックごみに関する条約、容器の再利用事業、傘のシェアリングサービスに関する記事を読み、プラスチックごみ問題について考える。
	Unit 2 共生	・ハイヒール反対運動、障がい者の障壁除去、パッケージデザインに関する記事を読み、誰もがストレスなく生きられる社会の在り方について考える。
	Unit 3 飢餓・食糧問題	・深刻な食糧不足、食品ロス削減、食品ロスのアプリ開発に関する記事を読み、食材の有効利用について考える。
二学期中間 考査まで	Unit 4 医療・福祉	・コロナのパンデミック、アジアの蚊によるマラリアの蔓延、日本の蚊帳が果たす役割に関する記事を読み、対策方法を考える。
	Unit 5 教育	・教育を受けられない子どもたち、アフガニスタンにカバンを送る事業、世界に広がる音楽教育に関する記事を読み、教育の意義とその重要性について考える。
	Unit 6 衛生環境	・水設備とコロナ感染リスクの関連、トイレのない国々の現状、画期的なトイレによる環境改善に関する記事を読み、衛生環境改善の重要性について考える。
二学期期末 末考査まで	Unit 7 産業・技術	・ドローンによる配達計画、スーパーコンピューター、ロボットとの協働についての記事を読み、技術の発展によって広がる可能性について考える。
	Unit 8 雇用・経済成長	・男女格差の解消の重要性、新型コロナが農業に与えた影響、コーヒー生産者の安定した収入についての記事を読み、雇用と経済成長の関連性を考える。
学年末 考査まで	Unit 9 国際関係	・バングラデシュの縫製業の賃金不払い、JICAの外国人労働者支援活動、途上国におけるものづくりに関する記事を読み、先進国と途上国の連携の可能性について考える。
	Unit 10 気候変動	・昆虫の数の激減、記録的な高潮被害、古着を用いた代替航空燃料に関する記事を読み、深刻な気候変動の現状を知り、その解決方法を考える。
評価方法	【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク・ノートやプリントの整理状況等で評価する。	